

### 3 . 質疑応答 ( 第 4 回大畑公民館 )

#### ・ 副市長

・この説明会は、17日を皮切りに昨日は脇野沢地区、今日は昼からは文化会館で、そして夜は大畑地区でということで参りました。あらかじめ申し上げておきますが、これまでの説明会のなかで、財政が健全化するまでは移転は反対というような意見がありましたが、今日は基本計画書を作成しましたので、その内容について皆様にご説明申し上げ、いい知恵があればさらに吸収していこうという趣旨ですので、どうぞその辺をご理解のうえ、質疑をお願いします。

#### 質問者 1 ( 男性 )

・アンケート用紙が足りない場合は、別に用紙をもらえるかどうか。それから、間接的な事項についても質問をしても良いかどうか。また、質問した事項に対しては、文書で回答がもらえるかどうか。この3点について回答をお願いします。

#### ・ 副市長

・すべてその意向に沿いたいと思います。

#### 質問者 2 ( 女性 )

・旧アークスプラザの取得については、現市長が議長の時、賛成反対同数になって最終的に否決されましたけれども、どうしてまた、杉山前市長は改めて提案して、議員にあらかじめ電話したりしていたのか。そうまでして移転を急がなければいけなかったのか、何か裏があるのではという疑問があります。それから、私たちは自分の家が古くても借金があれば、またさらに借金して家を新しくしようとは考えませんよね。市ではその辺の事をどのように考えているのでしょうか。

#### ・ 市長

・確かに29対29で最終的に議長が1票を投じて判断をしなければいけない場面がありました。そのときに私は、形としては否決という判断をしました。そのとき私は、このこと(旧アークスプラザの取得)については説明が足りないという思いがまずありました。そしてやはり、もう一度議会に説明をするべきだという判断のもとで、現状維持の原則という議会のひとつの考え方に立ちまして差し戻しをしました。その後、杉山前市長がどのような考えで改めて賛否を問い、そして議員に電話をしていたかという点については、私は承知しておりません。

もうひとつ、なぜ庁舎を新しくしなければいけないのかということですが、もっともな部分もございます。しかしながら、先ほどご説明いたしましたように「合併特例債」という非常に有利な借入れの方法がございます。最初の数年間は500万から600万程度、そして順調に赤字解消計画も進んで、バランスがとれる頃には2,500万程度の支払いというような形ははっきりと見えております。赤字解消計画を達成するべく全庁一丸となって努力をしていくということですのでご理解いただきたいと思います。

また、現庁舎は耐震性の点で非常に問題があります。震度5程度の地震で倒壊のおそれがあるということです。そのなかに毎日市民の方々が1,000人お出でになる、さらに職員も400人出入りをする、そういう状況のなかで耐震性の問題があるものに対しては、やはりしっかりとした対策が必要であるということでご理解いただきたいと思います。

・副市長

・なぜ急ぐかということにつきましては、これまでの新聞報道等である程度ご存知かと思いますが、アークスプラザが17年9月に倒産しました。それで、前市長も我々も大型店が進出してくるであろうということで見守っていましたが、年を明けてもそういう業者が現れませんでした。2、3の申し入れはあったのですが、価格面、そして、ああいう大きな建物に設備投資をしてということでは、相手が見つかりませんでした。そして、やはり建物というのは使わないと風化いたします。そういうことでは、財源の目途がつかしましたので、耐震性などの、そういう不便な状況等を勘案いたしまして、取得に踏み切ったということでございます。

あと、裏に何かあるのではないかといったことについては、一切ございません。幸い、そういう電力2社からのご寄付がありましたので、それを財政難の折、有効に使わせていただいたということでございます。

また、議員との利害関係といったものについては、私もよく存じあげておりませんが、市長が政策として掲げたものについて、いろいろな機会を通じて議員の皆さんと意見交換をするというのは十分考えられることでございます。



質問者3（男性）

・現在の庁舎より遠くなるわけですが、公共交通のインフラをどのようにして整備していくのか。第2点目は、身体障害者がこの広い庁舎のなかを移動するときはどうするのか。第3点目は、今24億円の借金を抱えて、学校教育現場でも修繕しなければならないものも修繕しないで、子供たちを危険な目にあわせて放っておいている状況でどうしてやらなければいけないのか。

・副市長

・旧アークスプラザは下北文化会館から直線距離にして1,500mという位置にあります。庁舎が遠くなるというご意見でしたが、官庁街にも近いですので、アクセスとい

うことではそんなに支障は来たさないものと考えています。

また、教育行政につきましては、現市長も、歴代市長もそうでしたが、かなり比重をかけてきたものと思っています。毎年そういう簡易的な補修というものにつきましては、3,000万円くらい予算をつけて対応しております。

#### ・建設部理事

・身体障害者への対応についてですが、先ほどの説明で「バリアフリー」という表現をさせていただきましたが、「すべての来庁者に配慮した空間の整備」をうたっております。この点については、身障者のための多目的トイレなども必要かと思っています。

もうひとつ、「来庁者に優しい窓口等の整備」というものを考えております。「動線の最短化」、それと「窓口と関連事務の集約化」を考えておまして、先ほど「プロポーザル」の説明もございましたが、来庁者に関して最短の流れとなるようにしてほしいというのを課題として出しております。

#### ・副市長

・アクセスの件について、ちょっと付け加えておきますが、今、むつ市役所の本庁舎の前にはJRのバスが通っております。これから新庁舎に移転になったとすれば、下北バスになるのか、JRバスになるのかわかりませんが、同様の整備がなされるものと思います。

#### 質問者3（男性）

・1,500mと簡単にいうんですが、高齢者が1,500mの距離を移動するのにどれだけの苦勞をするのか、その辺をぜひ考えていただきたいと思います。それから、実際に足の悪い方は、距離が短くなったとかではなくて、どうやって移動するかをまず第一に考えるものなんですよ。その辺をもう少し考えてほしいと思います。それから、むつ市の年間予算はいくらありますか。

#### ・副市長

・投資的経費として22億円です。

#### 質問者3（男性）

・何ですか、3,000万円っていうのは。一番大事な教育ですよ。

#### ・教育部長

・学校環境の整備ということでの質問でしたが、ご存知のように合併をいたしまして、35の小中学校を抱える状況にあるわけでございます。そのなかには、非常に老朽化した校舎等をたくさん抱えてございます。3,000万円という話を副市長の方から申し上げておりますけれども、そういうことですべての要望に応えるということではできませんが、最大限の努力をしながら整備をしているという状況にあります。

そのほか、少子化ということで学校の経営が非常に難しくなっているという状況がござ

いまして、小中一貫教育の推進を目指しております。ここ大畑地区におきましても、小目名小学校、それから関根橋小学校の2校を大畑小学校の方に統合するというところで、子供たちの教育環境を集約しながら整備していくという方策も考えているところでございます。なかなか一朝一夕に進んでいくことができない財政状況にありますので、皆様のご不満も募るところかもしれませんが、検討を行いまして最大限の努力をしているという状況でございますので、ご理解をいただきたいと思っております。

### 質問者3（男性）

・市長にお聞きしたいんですけど、私が聞きたかったことは庁舎が必要かということですよ。

#### ・市長

・まず、公共交通の部分ですが、1,500mというのは私も最近歩いていませんので、これは大変な距離だと思います。そういう状況ですので、これはしっかりと約束したいと思っております。

次に、バリアフリーの問題ですけれども、（スライド13を見せながら）これが現状です。左の方は市民課の窓口です。そして右側の方が国保年金課だとか、保健福祉部になります。このなかでは、車いすが通れないということです。そういう現状でございますので、皆様のご意見をそのまま入れさせていただきたいと思っております。

次に、教育関係の問題ですが、今具体的にフェンスの話がございましたけれども、私はこれから「まち」に出て、そうした声を聞くような体制をとりたいと考えております。さらに9月、10月になると思いますが、広報広聴機能を高めるための手法を広報広聴課を中心として対策を練らせています。私はそうした市民の声が届くようなシステムづくりを考えておるところですので、その際は大いに、特に私は子供たちを大切にしたいという思いがありますので、そうした場面でご意見を出していただければと思います。フェンスの問題については、後ほどお話をお聞きしまして対応させていただきたいと思っております。

### 質問者4（女性）

・市民主役の政治を行いたいという理念で市長になられたと思いますが、旧むつ市民と新むつ市民とでは大分、格差があります。私たちの一番大切な医療がなおざりにされて、この庁舎の移転には電力会社が寄付をしたということに対して、もの凄く腹が立っております。私たちは病院を診療所に縮小して、大変な思いで生活しております。本当に市民主役の政治を行うんだったら、医療を守ることが最優先だと私は思っております。

#### ・市長

・お答えになるかわかりませんが、就任してさっそく、大畑庁舎、川内庁舎、脇野沢庁舎の各所長に指示して、合併してどうだったか、まず庁舎内でアンケートをとりました。その結果は今、企画の担当の方で集約しておりますが、今度は住民の方々にどういう点が不満なのか、何が不足しているのかという声をお聞きし、それを集約していきたいと

考えております。医療の問題については、お医者さんが不足しています、さらに累積の赤字もあります。その部分は、これから財政の問題の説明会を行いたいと思います。さらに医療の問題、病院の経営についても時間をかけて、時期をみて、説明会に臨みたいと思います。そういう意味で就任してまだ間もないものですから、もう少し時間をください。

#### 質問者4（女性）

・わかりましたけれども、私たちもむつ市に合併して良かったと言えるような形をなるべく早く実現してほしいと思います。



#### 質問者5（女性）

・旧むつ市、大畑、脇野沢、川内をあわせて全体で借金はいくらあるんでしょうか。

##### ・企画部理事

・18年度末現在の一般会計の市債残高ですが、341億5,823万8,000円となっております。

#### 質問者5（女性）

・わかりました。庁舎を移転するとして、それをどうやって返済していくかという目途は立っているんですか。それは一人当たりの借金にするといくら位になるんですか。

##### ・財政課長

・先ほどの市債というのは、普通、家を建てる時は個人で銀行から借金をして、それを月々返済していくということになりますけれども、市も同じでございます。340億を毎年計画的に返済していきます。それから、市民一人当たりの市債残高ですけれども、19年3月末のむつ市全体の人口が65,960人ですので、51万7,863円です。

#### 質問者5（女性）

・それから、返す目途はきちんと立ってるんですか。

##### ・財政課長

・先ほど赤字解消計画ということで、平成23年度には黒字を目指しております。黒字といいましても起債の借金がゼロだということではありませんが、例えば今年のことを申し上げますと、返した起債が34億ほどあります。一方、18年度に借りた起債が14億ということで、差し引きしますと平成18年度には起債が20億ほど減っています。年々によりまして多少のバラツキがございますけれども、こういうような形で借金を多くしないという姿勢をとっております。

・副市長

・その辺の内容もホームページあるいは定期的に4月、5月あたりの市政だよりに「一人当たり」、それから「起債の償還額」、そういったものを全部載せておりますので、そちらもご覧いただきたいと思います。

質問者6（女性）

・合併後大畑は市外になったのか。ケアマネージャーから市外になったからといわれ、旧むつ市が市内で旧町村は市外になるのか。

・副市長

・むつ市全域が市内になります。

・収入役

・「しがい」の「がい」の字が「街」のことではないでしょうか、この辺は大畑町の市街になります。

質問者6（女性）

・福祉タクシーを使いたい時に、ふれあい館から借りることになっているのだが、タクシーを使うよりも倍の値段が掛かる。ケアマネージャーに市内じゃないので、それであれば呼べば家まできてもらえるので、タクシーを使ったほうがいいと言われた。

・保健福祉部長

・社協でやっている福祉タクシーの件だと思いますが、市が社協に委託している事業ですが、料金体系については、旧市街地が市内という設定になっていて、料金も統一が図られていません。その辺は今後の検討課題にさせていただきたいと思います。現在社会福祉協議会で運行している福祉タクシーは2台しかございません。全ての市民に行き渡るには難しい状況でございますので、今後検討していきたいと思っております。



#### 質問者7（男性）

・新しい庁舎には相談室ができるのか。

##### ・総務課総括主幹

・各課においての相談室のことかと思われませんが、現在も保健福祉部等に相談室がありますが、足りない状況でございます。広いところに移りますので、相談室は音の漏れないプライバシーに配慮した相談室をいくつか設けることとなっております。

#### 質問者7（男性）

・今の相談室だと声も漏れるし、ちゃんとした相談ができる状態ではない。警察の取り調べ室とは言わないが、新しくなるのであれば立派な相談室にしてもらいたいし、何部屋か作ってもらいたい。

##### ・総務部長

・市民ルームの関係かと思われれます。今の市民ルームをイメージしていると思いますが、市民ルームとは別に保健福祉部や税務課等では相談業務が多くありますので、必要に応じて相談室を個々に設けますのでそういう心配はないと思われれます。

#### 質問者8（男性）

・合併する以前の大畑、川内、脇野沢の庁舎がありますけれども、機能分散についてはどのような考えを持っているのか。あと市長選のときにお知らせが入っていて、債務600億円とあったんですが、その真偽はどうなんですか。

##### ・財政課長

・「借金」という考え方には2通りありまして、まずひとつは先ほどご説明申し上げました「累積赤字」ということで、18年度末で21億円あります。そのほかに長期に借入している借金というものがございます。これは「起債」ということですが、600億というのは17年度末の一般会計、それから下水道会計、それと公共用地取得会計、さらには脇野沢の簡易水道、これらの起債を合計いたしますと470億ほど、さらに水道の起債も130億ほどございまして、合計で600億ということなんです。長期の借金分が600億でございますけれども、夕張のような335億という赤字ではないということなんです。

#### 質問者8（男性）

・やはり600億というのは借金なんですよ。それをいかに借金を少なく見せるかということで数字を隠しているんじゃないかと思えますよ。2通りあるとか何とかというのは逃げ口上だと思うんですよ。やっぱり借金なんですよ。

##### ・収入役

・市長選挙のときに見たというのは、おそらく662億8,364万8,000円とい

う借金がありますというものであったと思います。これも正しい数字です。先ほど財政課長が申し上げたものの内訳を読み上げますと、一般財源が343億、それから下水道で108億、公共用地取得で1億3,000万円、簡易水道で5億9,000万円、プラス水道事業で130億、これを足しますと、正確な数字は588億円です。それで、662億というなかにはさらに医療センターの起債の残額がプラスになっております。つまり、むつ総合病院、大畑診療所、川内病院、脇野沢診療所、リハビリテーション病院の借金74億7,000万円を足しますと662億になるわけです。今日の午前中も一部事務組合の話が出たのですが、私たちは一部事務組合の医療センターの経費には踏み込めないで、できれば今日の説明は勘弁していただきたいということで理解していただいたところです。ですから、別にごまかしたわけではなくて、先ほど財政担当の理事がお答えしたのは、むつ市の一般会計だけの借金の金額を申し上げたものです。これは計画的に支払いをする準備ができています。

#### 質問者8（男性）

・役場の機能分散の話はどうなんですか。

#### ・副市長

・これは合併の際の協議を経まして、今の組織が確立されております。今、むつ市の行政組織としては、教育委員会を含めまして8部制をとっております。部の決裁は本庁舎の方の各部長が担っております。そして、各分庁舎にはその部に直結して、大畑地区であれば、管理課、産業振興課、地域振興課、それから教育課があります。それと、各地区にはそれぞれ町長さん、村長さんがいたわけですので、その機能を担う意味で各分庁舎には「所長」という部長級の職員を配置したところです。

#### 質問者8（男性）

・大畑の役場（分庁舎）に入っていくと、空いている部屋がいっぱいあるんですよ。そういうものの利用を考えたことがないかということも今の質問の意図に含まれているんですけどね。その辺はどうなんですか。

#### ・副市長

・もちろん空いている部屋はあります。議会も一本になっていきますし、分庁舎につきましても、議会のスペースはもちろん空いております。確かに旧来の大畑町役場としての人員・組織等からは大幅に変わっていると思いますが、現在この組織が有機的・効率的であるということで、やっておりますのでご理解いただきたいと思います。



## 質問者9（女性）

・「高齢者に優しい庁舎」とはどういうイメージなのでしょう。私は年寄りに優しい市庁舎であれば、「ここに来い」というのではなくて、私みたいに年寄りが出て、動けないひとのところに優しく来てくれるようなものを求めています。そういうことも加えてほしいと思います。

二つ目ですが、私はこの説明会が成功すればいいなと思ってきました。それは市長さんが先ほどから声を高くして言ってらっしゃるように、「まち」に出てみんなの声を聞いたという市長さんの姿勢は素晴らしいと思うんです。ですから、先ほどからかなり本音で大畑のみんなは話してますから、耳が痛い部分はあるとは思いますが、みんなが本音で話したという意味では、今日の説明会は成功だったんじゃないかと私は思っています。これが今日一回のセレモニーで終わるんじゃなくて、市長さんの姿勢がこれからもずっと貫かれて、市民の声を聞く機会を作っていってほしいなと思っています。

### ・市長

・励ましの言葉をいただきましてありがとうございました。先ほどからお話ししてありますとおり、私はこの説明会はただのペーパーだけではなくて、このような画面を使って良くわかるように説明をしてくれということで、私も事前に見て何回も手直しをさせて、例えば、現在と比べて新しくなったイメージはどうなのかとか、そういうような形でよりわかりやすいものとなるよう指示をいたしまして、今日に至っております。これから財政の問題だとか、病院の運営だとか経営だとか、そういう部分で大いに出かけていきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

## 質問者10（男性）

・合併特例債は、年数は忘れましたが、使わないということではなかったか。整備費用が新築に対して半分とあるが、何に対して半分なのか、どういう姿なのか。防災拠点とあるのも、市民が市庁舎まで行けなければまったく意味がないですね。

### ・建設部理事

・半分と申しますのは、この規模の建物を新築した場合、約50億円を見込んでいます。この50億円といいますのは、最近の省庁の単価をみますと、この程度の規模になりますとその数字になります。

### ・総務部長

・現庁舎は震度5以上になりますと、倒壊のおそれがあります。そうなりますと、庁舎には災害対策本部を作れません。アークスプラザに移りますとその災害対策本部を常に設置する体制ができます。住民の安心安全を守るためにそういう設備を確保するというところでご理解いただきたいと思います。

### ・副市長

・合併特例債のことですが、合併特例債といえども借金ですから、合併後の財政がある

程度目途がついた段階で使っていこうということで、合併協議会でのご質問にお答えした経緯がございます。使わないということではございません。現に17年の合併後、少しずつですが、道路等に合併特例債を使わせていただいております。

#### 質問者10（男性）

・民間では事務所なんか作りません。ホッタテ小屋です。そういうことの意識がないと潰れるんです。

#### ・建設部理事

・国において、役所の建物については災害対策に従事するための施設であるから、耐震基準に則ったものを整備すべきであるとされております。それを踏まえまして、今の庁舎と同じ7,000平方メートルの建物を建てたらいくらかかるのかというと約半額、そういう数字になります。



#### ・副市長

・それでは、時間も時間となりましたので、あと質問がなければこれで終わりたいと思います。よろしゅうございますか、それではありがとうございました。

20時45分終了